

1995年(平成7年) 10月

第2号

この子等の幸せを考える親の会

きぼう

事務局

〒494 尾西市富田字漆畑16番地

TEL/FAX: 0586-61-6055

編集責任者: 広報・研修事業部

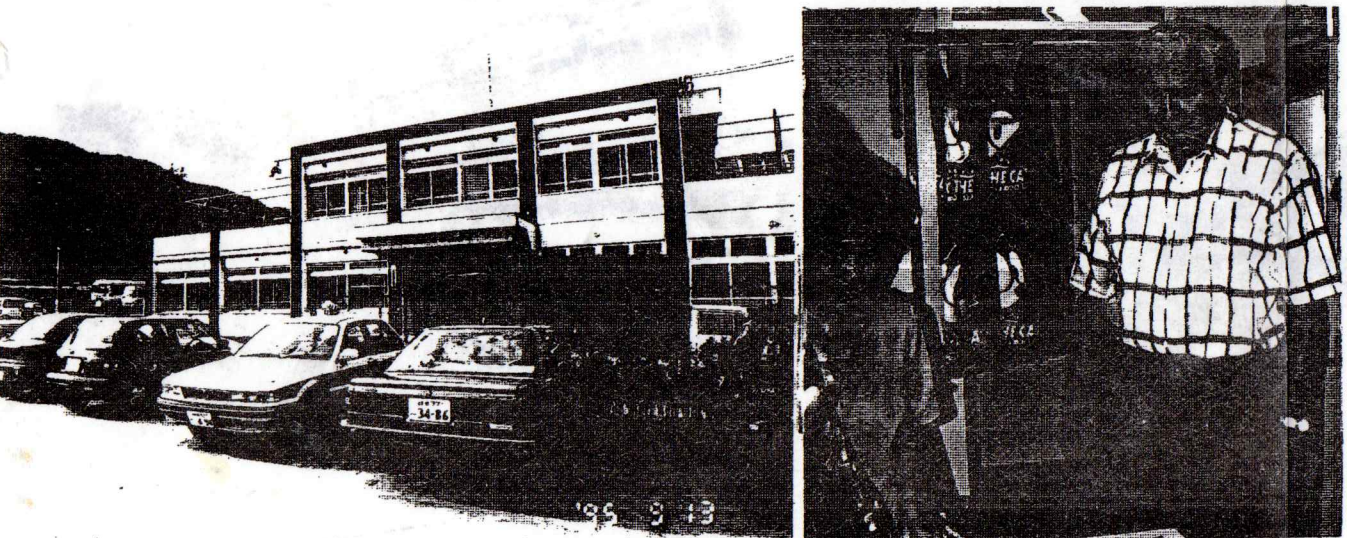
あゆみの家施設見学の感想

ジョン・ポーマン施設長に、あゆみの家を設立するまでの苦勞話をお聞きしたので少し書いてみたいとおもいます。

ポーマン先生は、戦後兵隊として、日本に來られました。当時の日本には食べるものも少なく、子供達は食べ物を求め、兵隊さんにつきまとっていたそうです。ポーマン先生は、チョコレートとか缶詰を与え、子供達の面倒をみられたそうですが、本国に帰らなければならぬ時が来てしまいました。

別れの日、物のない時なのに、どこから集めたのか食べ物を並べ、お別れ会を開いて頂いたそうです。その中に刺身がありました。本国では刺身を食べる習慣がないのですが、皆の気持ちが嬉しく、ポーマン先生は、刺身を食べられたそうです。また日本に帰って来て下さいとの皆の言葉を胸に本国に帰られました。

本国で2年間大学に行き、教会での活動を通じ、日本の子供達のために施設を作り、再び日本の土を踏もうと考えられたそうです。その日から施設を作るためのご苦勞が始まりました。当時は3万円あれば施設ができるのですが、銀行では貸してくれず、色々な所を資金集めに駆け巡ったそうです。



平成7年9月13日あゆみの家施設見学

ポーマン先生の努力の甲斐あって、昭和45年にあゆみの家が完成したそうです。その後はあゆみの家の趣旨に感銘した人達からの資金の援助や、銀行からの融資が相次ぎ、昭和60年に第二あゆみの家が完成しました。

今では第一、第二と満員で、それでもどうしても面倒がみれないから入所させてくれと泣いて頼まれると、心の優しいポーマン先生は、断ることが出来ず、国からは認定されていないグループホームを作り、今でも先生が面倒をみられているそうです。

施設を見学させて頂いて、開かれた施設、地域と一体となっている施設という感じがしました。ボランティアが毎日のように入り、洗濯、掃除、作業の手伝いをして下さるそうです。施設はとても綺麗に掃除されていました。

＝寄せられた施設見学の感想＝

去る9月13日、広報・研修事業部の企画により施設見学が取り組まれました。生活施設設立へのきぼうとあゆみの中で、現に生活施設での本人の暮らしぶりはどのようなものか、保護者はどのように団結しているのだろうか資金作りはどのように取り組まれたのか等、勉強のために実施しました。

見学先は、バザー関係でたまたま知り得た岐阜県垂井町のあゆみの家で、そこは、尾西の地より西方養老山脈のふもとにありました。

「親の会」の訪問の依頼には、快く受けて下さいました。当日は、会員21名の参加、バス1台に乗り込み、醒井養鱒場で初秋の清流が流れる森林を満喫した後、午後にあゆみの家を訪れました。

施設長のポーマン先生や堀江先生、田口先生がニコやかに迎えて下さいました。会報誌第2号と次号に寄せられた施設見学の感想文を載せて行きたいと思えます。

<編集部>

施設見学の感想

あゆみの家では仕事の部屋が大変広いのにびっくりしました。

先生も大変良いのにびっくりしました。

いろいろお世話になりました。

一日楽しく暮らさせて頂き有り難う御座いました。



施設見学に参加させていただいて

先日は、あゆみの家施設見学に参加させて頂きありがとうございました。

私にとっては初めての施設見学という事もあり、胸をおどらせながら参加させて頂きました。

思い描いていた通り、自然に恵まれた中でたくさんの方々の愛につつまれた素晴らしい環境の施設でありました。

まずは昭和46年心身障害児通園施設「あゆみの家」のちの「第一あゆみの家」が作られ、昭和60年入所タイプの施設として「第二あゆみの家」が開園の運びとなったようです。

私が一番印象に残っています点は、あゆみの家は地域との関連性を非常に大事にされている点です。民間のボランティアの方々が年間1000人もの方々が来て下さるようです。施設にとってボランティアの方々が協力して下さるといふ事はとても助かることでありますが、ボランティアをして下さる方々も何か少しでも人の役に立てることの喜び、利用者の皆さんのくっつくの笑顔は心がほのぼのとあったかくなる経験をして頂ける場となるのではないかと感じます。

また施設長のポーマン先生は牧師様であられるためキリスト教の愛の精神が根底にあるのでまだまだ足りないとはおっしゃられますがお一人お一人が豊かに生活が出来るよう努力されている姿がよくうかがわれました。また私がとても興味深く聞かせて頂きましたのは「いぶき作業所」についてです。

「いぶき作業所」は精神障害の方々の施設で14～15人の方々が働いてみえるそうです。

現在、こうして社会全体が不安定になってきている中でありますので、知的障害の方々の3倍程の精神障害の方がみえるそうです。しかし、精神障害の方々といえど軽度の方であるならば十分社会で働くことが出来るのだそうです。精神障害になったのは本人の問題だからと片付けるのではなく、どんな方々もこの世に生を受けた以上、すばらしい人生を生きる権利があるのではないかと思います。近い将来には社会全体のこととして考えねばならない時が来るのではないかと感じさせて頂きました。

まだまだ経験も学びも少ない私でありますので、今後もこうした施設見学等を通し、一つづつ人間性を大きくしてゆきたいものだと思っております。



盆踊りをふりかえって

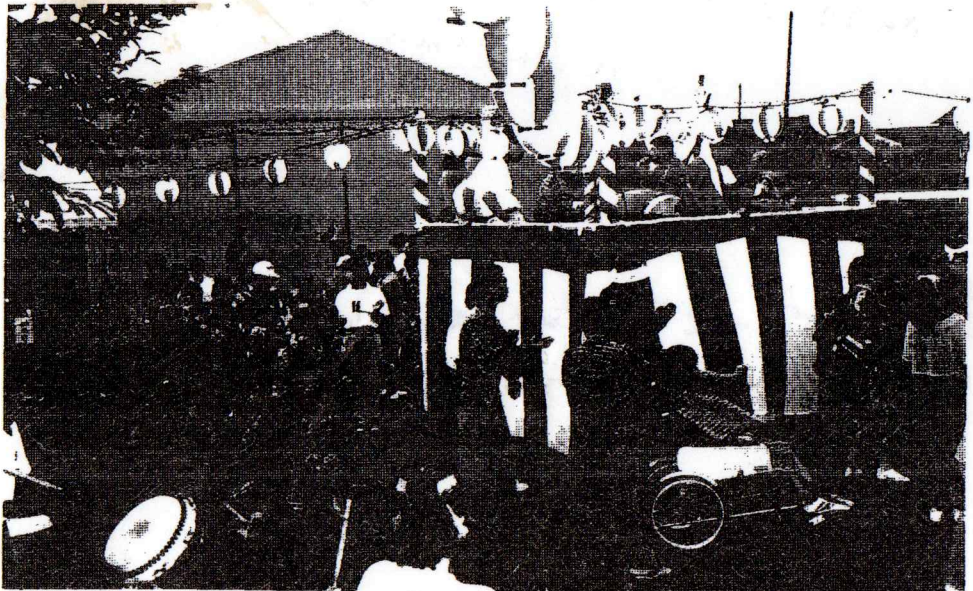
今年も盆踊りに参加させてもらいました。盆踊りも年を重ねるほどに盛大になり、うれしく思っています。

子供達もたくさんのお店を回って歩くのに忙しそうで、おいしいにおいにつられてたくさん食べ、はしゃいでいました。また一人は唄い、一人は踊り夜空にきれいな花火をあげてもらって、一年に一度の浴衣を着て、うれしがったり、はずかしがったり、楽しい夜を過ごしていました。

それもこれも地域の皆さん、そしてボランティアのみなさんの助けがなくてはできないと思います。子供達にとりましても多くの人とつきあい、みなさんに理解してもらうのに良い出会いだとおもいました。わたしも踊りを教えてもらって輪の中に入りたいたいものと思いました。

今年はイスを用意してくださったが、もう少し多くしてみなさんがゆっくり食べれる場所がほしかった。お母さんたちが毎年汗を流して働いて下さるから本当に助かります。ごくろうさんと心に思っています。おかげさまで、子供達も自分のお金を自由に使ってみる学習のようなこともでき、有意義なことと思っています。

これからも檜の木の子供達をあたたく見守ってほしいです。



平成7年8月10日檜の木盆踊り

楽しかった運動会

一周間延びた運動会でしたが、秋晴れの暑いくらいの天気となり良かったです。今年は子供だけの競技は昨年よりすこし少なく感じました。その代わり親子で出るものが多かったのもので、とても楽しく競技ができました。親子でとても楽しく一日を過ごせました。

これも先生はじめ関係者皆様方のお骨折りの賜物と感謝しています。お疲れ様でした。



平成7年10月15日檜の木運動会

＝ 檜の木盆おどりバザー ＝

8月10日、檜の木作業所に於いて恒例の盆踊りがあり「親の会」もバザーに参加させて頂きました。

当日は日中一時雷とともに強い雨が降り心配されましたが、皆さんの熱意のおかげで、盆踊りの準備が始まりかける夕方には何とかおさまり、無事開催することができました。

夕方6時からのバザー開始前より、大勢の地元の方に来て頂き、各模擬店も大盛況だったようです。「親の会」の不用品、手芸品コーナーもたくさんのお客さんで賑わってんやわんやの一時もありました。当日お手伝いして頂いたボランティアの皆さんありがとうございました。

お知らせ ⇨『物資班より』

11月に入りましたら、冬の物資販売を始めます。

注文書(カタログ)は11月上旬配布の予定です。

韓族の方よろしくお願い致します。

尚商品の配布は12月上旬の予定です。



＝がんばってます！手芸製作＝

「親の会」では毎月1回、市内の南部公民館の一室をお借りしてバザーに出品する手芸品の製作に励んでいます。

手芸品の主なものは、くつ下の廃材から作るマットから、手のこんだ刺し子の袋物、刺しゅうの花ふきん、厚手の生地で作った手さげバックなど、最近では少しずつ種類も増えて来ました。参加して下さるお母さん達もそれぞれ自分の得意な分野で頑張っています。

中には、仕事をもってみえるお母さんたちも、布の裁断をしたり、刺し子や刺しゅう、マット作りをしたり…と、家でできることがあればと参加スタイルは様々です。

先日、尾西市社会福祉協議会様より「福祉フェスティバル」の記念品として刺しゅうの花ふきん200枚の注文を頂きました。大変ですが、嬉しい注文で皆で頑張っています。

どの手芸品もお母さんたちが、子供達の将来が幸せになるようにと頑張って作った心のこもった作品ばかりです。

お知らせ ⇨ 次回の『手芸講習会』は、

日時、11月4日(火) 午前9:30～午後3:00

場所、南部公民館

《バザー売上報告》

日比野商店街バザー	4月15・16日	¥50,760	✓
木曾川作業所まつり	5月28日	¥39,230	✓
JA稲沢バザー	6月24日・25日	¥17,732	
夏の物資販売	7月3日	¥276,904	
中山道垂井宿まつり	7月22日	¥16,080	✓
檜の木盆踊りバザー	8月10日	¥96,900	✓
JA稲沢バザー	9月23日・24日	¥17,620	
＜授産振興センターのバザー＞			
福祉の店常設店	4～6月分	¥469	✓
(西友高針店)	7・8月分	¥117	✓
金山駅バザー	5・6月分	¥40,961	✓
	8月分	¥9,437	✓
名鉄メルサバザー	6・7月分	¥11,375	✓